

中里重利展 Shigetoshi Nakazato Exhibition

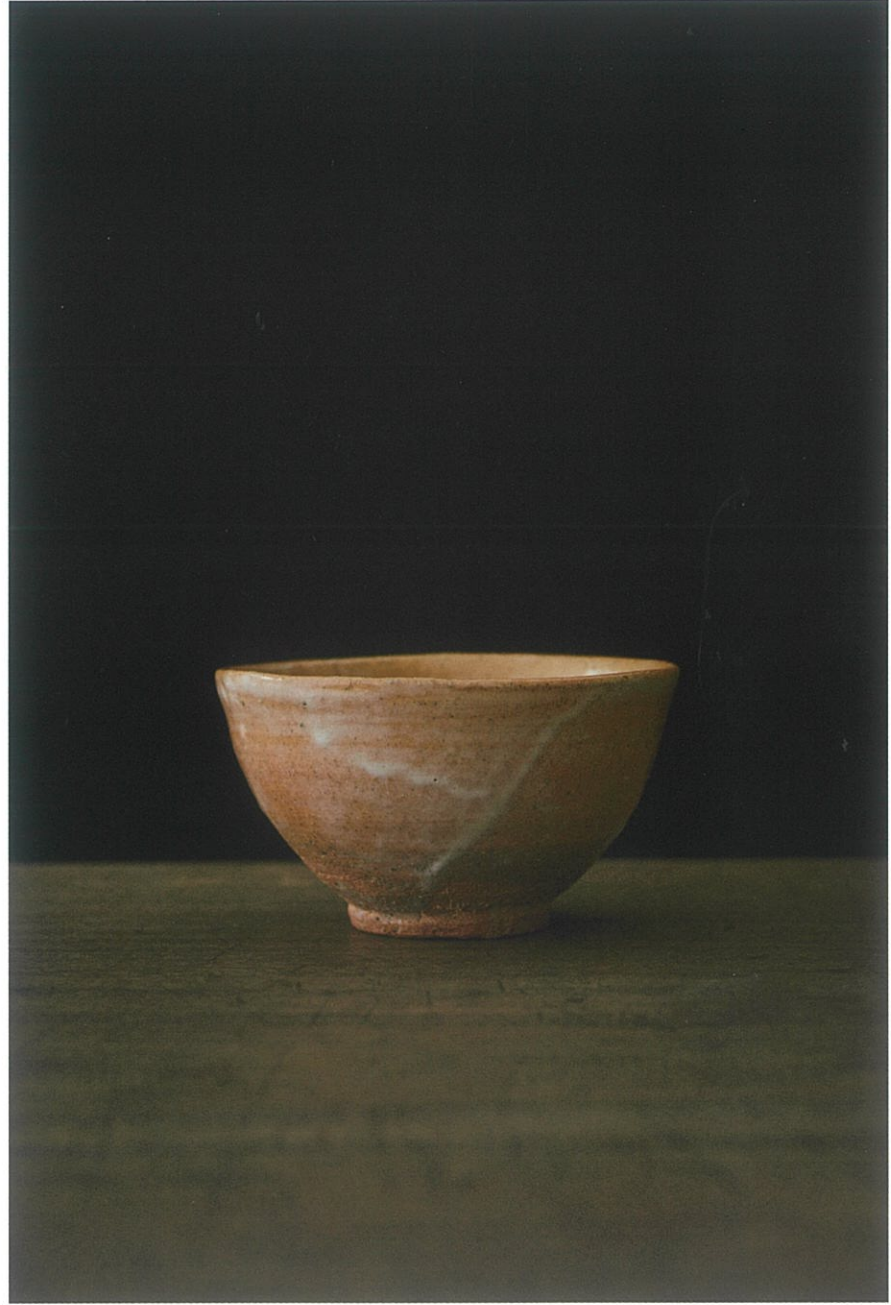
平成31年4月16日(火)↓5月12日(日)*22日休館
10時↓18時(入場は17時30分まで)
唐津市近代図書館 美術ホール ― 観覧無料

佐賀県唐津市新興町23番地 電話 0955-72-3467

主催…古唐津展実行委員会(事務局 唐津やきもん祭り実行委員会・サガテレビ)

共催…西日本新聞社 協力…古唐津研究会

お問合せ 0955-73-0007 (一番館 10時↓18時)



唐津茶盃

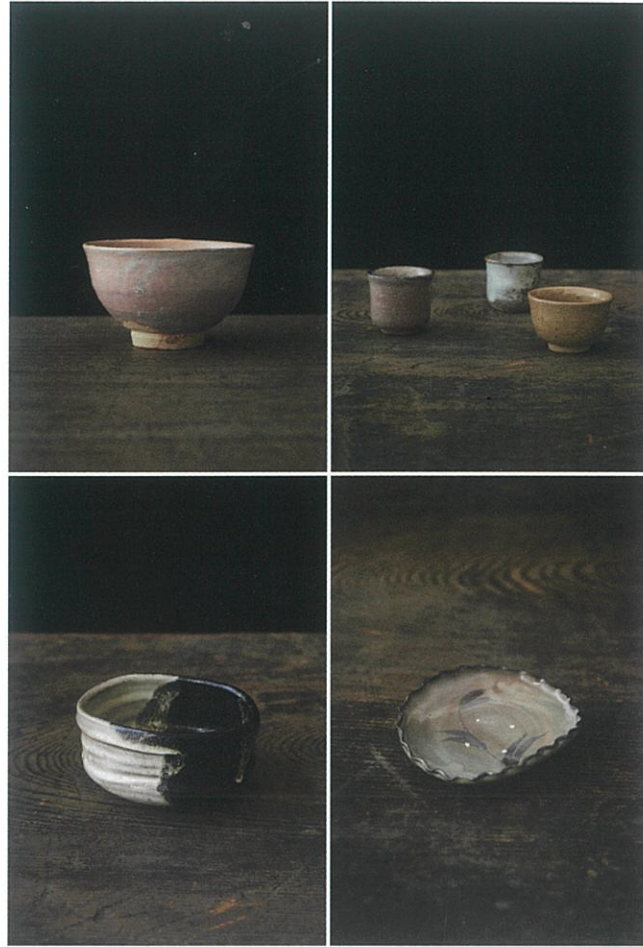
中里重利展 Shigetoshi Nakazato Exhibition

主旨 —— 古唐津の技法を復元し人間国宝に認定された故中里無庵の三男として唐津に生まれ、生涯を通じて唐津焼に向き合い続けた中里重利の回顧展。茶陶の世界でその名を知られ、轆轤の名手としても名高い中里重利。無庵と共に桃山時代の古唐津の復興に力を注いだだけでなく、野趣溢れる古唐津の美を求めながらも独自の美意識で自らの作品を厳しく追求め、「中里重利の唐津」を確立しました。確かな技術に裏打ちされたその表現は現代作家というよりも古の陶工を思わせ、美しく繊細でありながらも伸びやかさを感じる作品からは唐津焼に真摯にそして誠実に向き合った重利の人間性が感じられます。

今回の展覧会では重利の代表作に加え、没後遺族より唐津市に寄贈された作品をご覧いただくことで、唐津焼と共にあった重利の人生を辿ります。さらには重利の作陶の原点となった古唐津も展示致します。現代の唐津焼作家達の規範ともなる唐津焼作家としての在り方を示した中里重利の世界観を感じていただける大変興味深い展覧会となっています。

陶歴 ——

- 1930年 12代中里太郎右衛門（無庵）の三男として佐賀県唐津市に生まれる。
- 1944年 12代中里太郎右衛門に師事。
- 1956年 現代日本陶芸展で松坂屋賞を受賞。
- 1965年 日展で「三玄壺」が北斗賞を受賞。
- 1966年 日展の出品作品が外務省に買い上げられ、在外公館に陳列される。
- 1971年 日本現代工芸美術展審査員に就任。
- 1973年 独立。唐津市神田山口に築窯する。窯名を三玄窯とする。
- 1975年 日本現代工芸美術展で会員賞と文部大臣賞を受賞。
- 1980年 日本新工芸展で会員賞と楠部賞を受賞。
- 1982年 日展審査員に就任。
- 1985年 佐賀県芸術文化功労者を受賞。
- 1993年 佐賀県教育委員会より表彰を受ける。
- 1996年 県政功労賞を受賞。
- 2000年 大英博物館「佐賀県陶芸展」出品。
- 2002年 地域文化功労者表彰を受ける。
- 2015年 死去



| | | |
|---|---|---|
| a | b | a. 唐津茶盃 b. 皮鯨盃／斑唐津盃／黄唐津盃（左→右） c. 朝鮮唐津茶盃 d. 絵唐津向付 |
| c | d | |

ギャラリートーク A 元長崎県窯業技術センター 武内浩一
古唐津研究会 梶原靖元 矢野直人

日時：4月21日（日）13:30→
場所：展覧会会場（無料 申込不要）

ギャラリートーク B 十四代中里太郎右衛門

日時：5月3日（金・祝）11:00→
場所：展覧会会場（無料 申込不要）

唐津市近代図書館 美術ホール

会期：平成31年4月16日（火）→5月12日（日）
開館時間：10:00→18:00 *入場は17:30まで
会期中の休館日：4月22日（月）

〒847-0816 佐賀県唐津市新興町23番地
電話 0955-72-3467

電車 —— JR唐津駅下車、[南口]より徒歩1分
バス —— バス停[アルピノ前]下車、徒歩5分

主催：古唐津展実行委員会（事務局 唐津やきもん祭り実行委員会・サガテレビ）
共催：西日本新聞社
監修：十四代 中里太郎右衛門
協力：古唐津研究会
協賛：宮島醤油株式会社／株式会社まいづる百貨店／有限会社松浦漬本舗／松浦通運株式会社／唐津のれん會
お問合せ先：一番館 0955-73-0007（10:00→18:00）

写真／鈴木静香

